

行政視察報告書

平成28年8月8日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 天野 喜一郎 (印) 議員 大月 隆司 (印)
議員 大本 益之 (印) 議員 田口 忠義 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【視察案件】

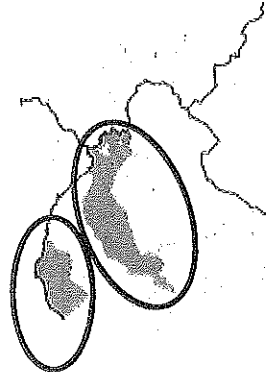
1. 北海道釧路市 「公有資産マネジメントの推進」について
2. 北海道根室市 「北方領土」につて
3. 北海道別海町 「意欲ある若い酪農(家)担い手の育成に向けて」について
4. 北海道網走市 「スポーツ・トレーニングフィールドレクリエーション広場」現地視察
5. 北海道津別町 「認定こども園」について

【視察期日】 平成28年7月26日～7月29日(3泊4日)

【視察コース】 笠岡 ⇒ 広島空港 ⇒ 根室待空港 ⇒ 釧路市 ⇒ 根室市 ⇒ 別海町
⇒ 網走市 ⇒ 津別町 ⇒ 女満別空港 ⇒ 広島空港 ⇒ 笠岡

【視察内容】 以下、研修案件ごとに報告

【1】 北海道釧路市

住 所	北海道釧路市黒金町7丁目5番地
電 話	0154-31-4581
視察案件	「公有資産マネジメントの推進」について
期 日	平成28年 7月 26日(火) 14時15分から15時15分まで
応 対 者	総合政策部 主任 山崎 隆 氏 他1名 議会事務局 課長 高嶋 晃治 氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	釧路市庁舎
概 要	<p>I. 市の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口 175,343人 1市2町の合併 地域が二分 ⇒ 2. 面積 1,363km² 井笠圏+福山市より広い 3. 産業 主に漁業・農業(酪農)・林業・製紙・パルプ等 4. 議員 28人 <p>※ 10年前より、「産業連関表」と産業連関表を用いた釧路市の経済構造の分析が出来ている。</p>  <p>1. 視察目的</p> <p>本市も公共施設等総合管理計画の概要版が策定されたところであるが釧路市は平成23年度より「公共施設等見直し指針」に基づき、資産経営的な観点による公共施設等の見直し、すなわち「公有資産マネジメント」に取り組んでいる。既に公共施設の集約型を実施している先進地である。また平成26年度に公共施設等適正化計画を策定している。</p> <p>2. 釧路市公共施設等見直し指針</p> <p>人口減少や公共施設の老朽化が進むことから、<u>人口動態による需要量の変化や人口構成の推移に伴う市民ニーズの変化への対応、公共施設の維持管理コストの縮減、公共施設更新に係る費用負担の軽減などを目的として、公共施設をはじめとする公有財産全体のあるべき姿の方向性を示す基本的な考え方を定めた。</u></p> <p>最少の資源で最大の効果を狙う</p> <p>※大学の研究センターと共同研究</p> <p>3. 基本的な4つの視点</p> <p>公共施設等を、目的、性質、現況などの違いによって区分するとともに、区分した財産の性格に応じた有効なマネジメント手法を確立</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公共施設の効果的運用 2) 公共施設等の利活用 3) 管理運営経費の効率化 4) 公共施設の長寿命化

4. 公有資産マネジメントの主な手法

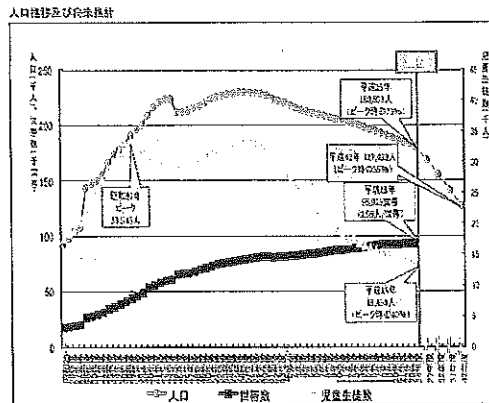
- ① 財産の性格によって分類した財産区分ごとに、最も有効と考えられる手法や観点により検討を行う。
- ② 各公共施設等について「継続」「見直し」「廃止」といった方向性を見出し市が保有する公共施設等全体の最適な管理と有効な活用を推進する。
- ③ 各公共施設の現況について取りまとめ、客観的な評価・分析を実施し、施設所管課において、この施設評価等を踏まえ各施設のPDCAサイクルによる運営改善等の検討。
- ④ ポートフォリオによる評価
各公共施設の現況を改善・継続・廃止・見直し等、優先度合を決定。

5. 公共施設等適正化計画

平成26年度に策定。本市と同様の所もあるが、数段優れて分かり易い。
評価結果や地域別施設マップ及び改善方針が策定されている。

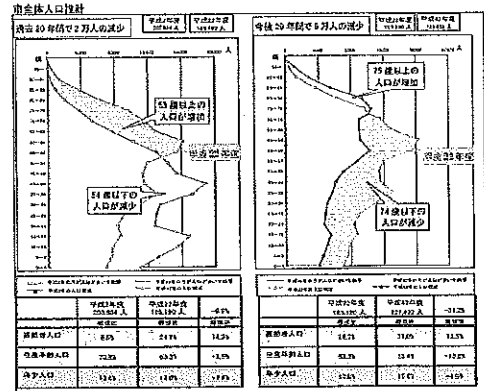
【説明資料より抜粋】

将来人口



出典) 昭和55～平成23年度 人口・世帯数・児童生徒数、高齢者世帯数基本情報等
 将来人口推計：平成22年度調査に基づくコーホート法による予測推計

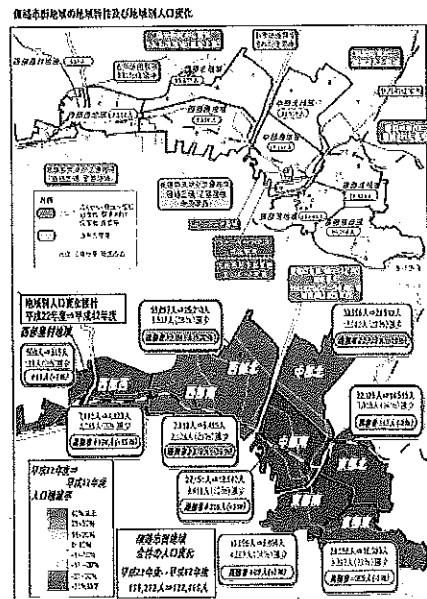
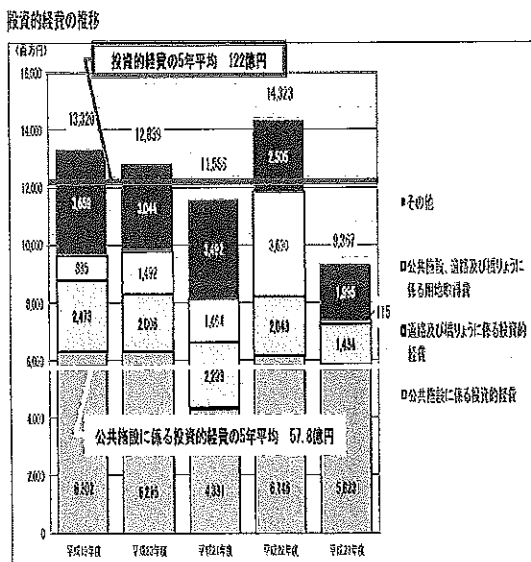
現状の将来の年齢分布



概要

地域特性及び地域別人口変化

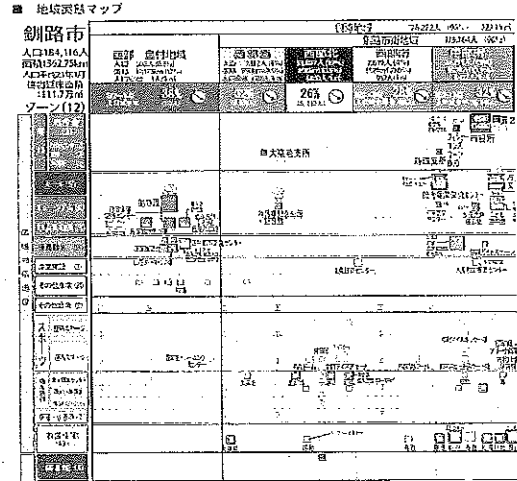
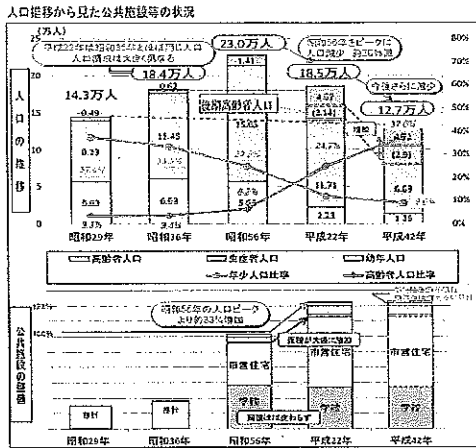
投資的経費の推移



人口推移から見た公共施設

等の状況 地域実態マップ

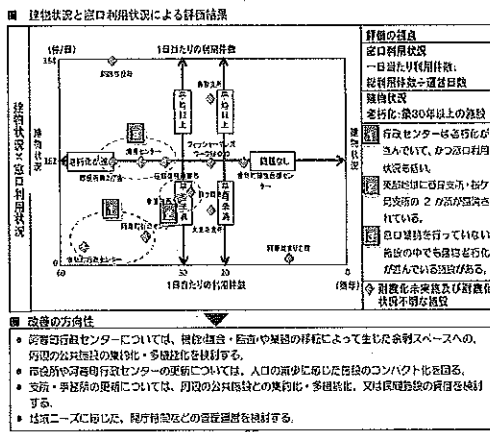
概要



建物状況と窓口利用状況による評価

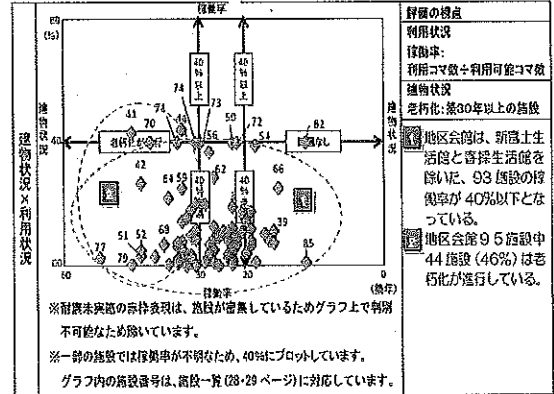
結果建物状況と利用状況による評価

結果 ○地区会館の評価結果



建物状況と利用状況による評価結果

○地区会館の評価結果



2. 課題

- 1) 膨大な施設の改修・集約等具体的施策はこれからである。
- 2) 合併後、施設は増えた中、公平感を損なわずの維持管理が大変。
- 3) 各地域の人口密度の差が大きい。

3. 感想

- 1) 施設ごとの将来構想を計画されている。
そして客観的データであり説得力がある。
- 2) 図表には示していないが、個別の劣化度合い調査済。
- 3) 保全については、劣化・故障毎に改修する方法もあるが、大規模改修をすることによるスケールメリットあり。
- 4) 地域から複合提案もあり、既に3施設を1施設に集約。等

4. 本市への参考点

- 1) 本市の公共施設等適正化計画は、個別の実態を把握しているのみであるが、人口減少や年齢構成変化及び利用実績且つ一人当たり費用等々を試算し中長期計画(維持・集約・廃止等)が急務である。

概要

日ソ共同宣言（昭和三十一年条約第二十一号）

日本国及びソヴィエト社会主義共和国連邦は、両国間に正常な外交関係が回復された後、平和条約の締結に関する交渉を継続することに同意する。ソヴィエト社会主義共和国連邦は、日本国の要望にこたえかつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び色丹島を日本国に引き渡すことに同意する。ただし、これらの諸島は、日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の平和条約が締結された後に現実に引き渡されるものとする。

<首相と大統領間の経緯>

1973年10月に田中角栄首相とブレジネフ共産党書記長との会談を経て、「第二次大戦の時から未解決の諸問題を解決して、平和条約を締結する」との日ソ共同声明が出されたが・・・

1991年4月にゴルバチョフ大統領が来日し領土問題の存在を公式に認めた。

2005年11月21日、訪日したプーチン大統領と小泉純一郎首相の間で日露首脳会談が行われた。

2009年2月18日サハリンでロシアのメドヴェージェフ大統領と日本の麻生太郎総理大臣が会談

2016年 安倍総理とプーチン大統領会談予定。

2. 課題

- 1) 返還のみ。
- 2) 私見、返還されても居住する方は少ないと思われる。

3. 感想

- 1) 返還となれば、国・北海道・根室等の経済効果は計り知れない。
- 2) 政府としても、北方領土問題の研修会を現地実施(他県の中学・高校等)
- 3) 返還は国民総意の願いであるが大国と共産系には話し合いでしかないか。
- 4) やはり国益のために、もっと政府が働きかけの必要と日本の宣戦布告の影響であるが、各国に経緯正当性を認識してもらう努力が必要。

4. 本市への参考点

- 1) 国土の問題であり共通認識が必要である。

※現地の北方領土を眺めたが、歯舞群島・国後島を見ることが出来た。

- 2) 釧路市の公共施設等適正化計画を見習うべき。
- 3) 地域提案も必要。行政決定論ではなく地域提案が円滑に進む。

【以下アドレス 根室市ホームページ 参考例】

http://www.city.kushiro.lg.jp/machi/t_keiei/page10005.html

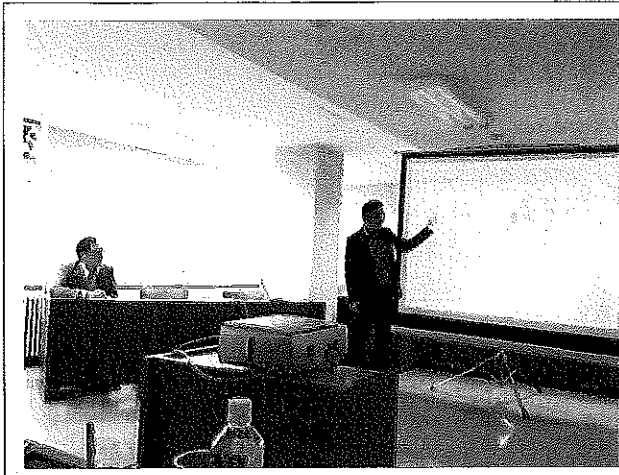
添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺

視察状況写真



釧路市
総合政策部 市有財産対策室

主任 山崎 隆

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
TEL:(0154)23-5195 FAX:(0154)22-4473
E-mail:ryu.yamazaki@city.kushiro.lg.jp

釧路市議会事務局
議事課

課長 高嶋 晃 治

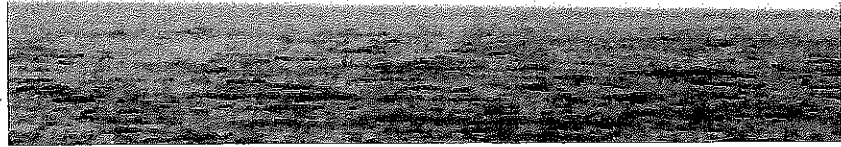
〒085-8505
北海道釧路市黒金町7丁目5番地
TEL:(0154)31-4581 (直通)
FAX:(0154)23-7679
E-mail:koji.takashima@city.kushiro.lg.jp

【2】北海道 根室市

住 所	北海道根室市常磐町二丁目 27 番地
電 話	0153-23-6111
視察案件	「北方領土」について
期 日	平成 28 年 7 月 27 日 (水) 9 時 00 分 から 9 時 30 分 まで
応 対 者	議長 田塚 不二男 氏 北方領土対策課長 織田 敏史 氏 室長補佐 長山 道憲 氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	根室市庁舎 ⇒ 納沙布岬より北方領土視察(現地視察)
概 要	<p>I. 市の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口 27,290 人 2. 面積 面積 513 km² 3. 産業 漁業・酪農 ※漁業関係にベトナムより 130 人研修労働(3 年間) 4. 議員 18 人 <p>議長挨拶 各議会においては毎年北方領土返還への署名ありがたい。 天野代表の挨拶も良かった。・・・「戦後 71 年を迎えるが、北方領土問題が解決しない限り、戦争終結を迎えられない」</p> <p>II 北方領土について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視察目的 議員(政治家)として、領土問題は把握しておく必要がある。 日本の一番の領土問題と今年プーチン大統領の訪日予定があり、ロシアとの最重要課題であることから。 2. 北方領土問題について 添付資料 1~3 について約 1 時間熱弁の説明をいただいた。 〈実効支配経緯〉 8 月 6 日 広島に原爆投下 8 月 8 日 ソ連が「日ソ中立条約」を一方向的に破棄 8 月 9 日 ソ連が対日参戦 8 月 10 日 ポツダム宣言の受諾を連合国へ伝達 8 月 15 日 終戦(玉音放送) 8 月 18 日 ソ連が「千島列島」に上陸開始 8 月 28 日 ソ連が「北方領土」に上陸開始 9 月 2 日 連合国への降伏文書に調印。 9 月 4 日 ソ連が「北方領土の占領」を完了 <p>!! 国境ではない中間ライン !! 本籍は、北方領土を認めている</p>

国後島

概要



添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺

視察状況写真



【3】 北海道別海町

住 所	北海道野村郡別海町別海常盤町 280 番地
電 話	0153-75-2111
視察案件	意欲ある若い酪農(家)担い手の育成に向けて
期 日	平成 28 年 7 月 27 日 (水) 13 時 00 分 から 15 時 00 分 まで
応 対 者	議長 松原 政勝 氏・・・議長は漁業出身 事務局長 登藤 和哉 氏 農政課長 門脇 芳則 氏 主査 廣島 静治 氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	別海町 庁舎 ⇒ 酪農研修施設

概 要

I. 市の概要

1. 人口 15,286 人
2. 面積 1,320km²
3. 産業 酪農・漁業(ホタテ・エビ)・野菜・麦
4. 議員 16 人

II. 意欲ある若い酪農(家)担い手の育成

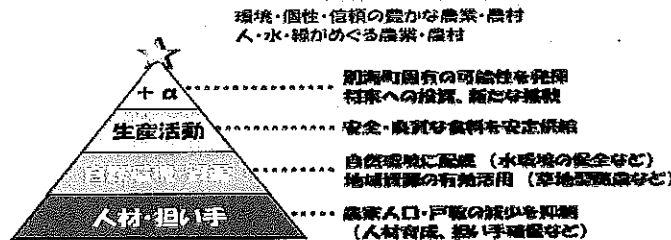
1. 視察目的

本市も漁業・農業の担い手不足であり、ある程度の補助制度はあるが、別海町は着実に担い手を育成し成功している先進地であることから。

2. 酪農の概要

1) 農業・農村をめぐる情勢

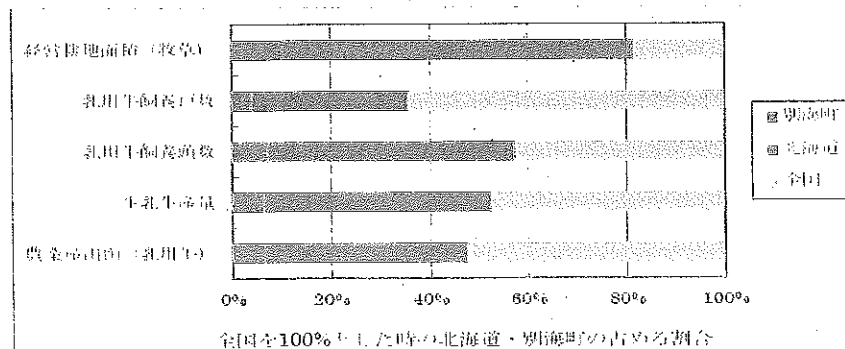
① 2016 年度～10 年間の重要・優先目標の考え方。



②別海町が北海道・全国に占める割合

区 分	単位	別海町(A)	北海道(B)	A/B	全国(C)	A/C
経営地地面積(牧草)	ha	63,500	505,350	12.6%	619,008	10.3%
乳用牛飼養戸数	戸	738	6,484	11.4%	18,191	4.1%
乳用牛飼養頭数	頭	102,429	820,430	12.6%	1,427,184	7.2%
生乳生産量	t	468,986	3,868,154	12.1%	7,379,224	6.4%
農業産出額(乳用牛)	千万円	4,479	33,180	13.5%	69,790	6.4%

(資料：2015 世界農林産センサス、農林水産省羊乳乳製品統計調査、北海道農林水産統計、別海町調べ)



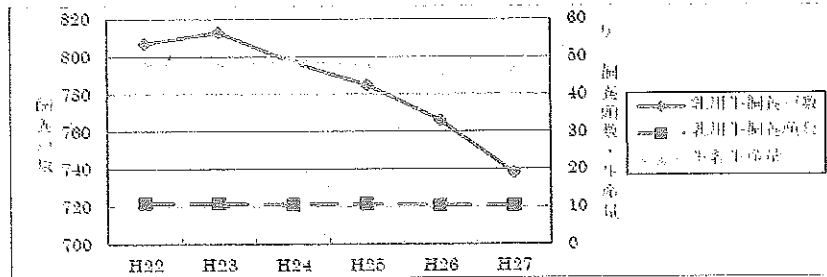
全国を100%とした時の北海道・別海町の占める割合

③農家戸数・飼養頭数・生産量の推移

農家戸数・飼養頭数・生産量の推移 (単位: 千頭・千トン)

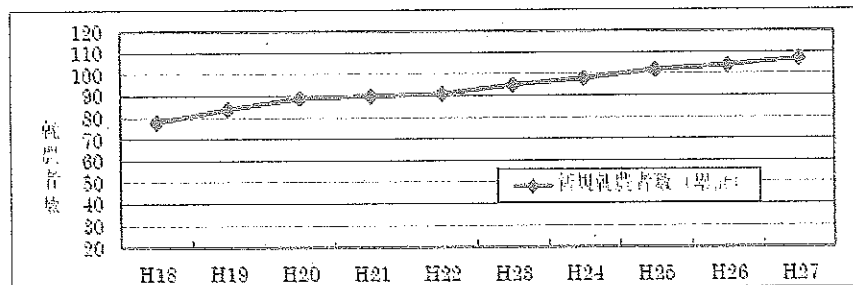
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27(全道)
乳用牛飼養戸数	807	813	791	785	766	738	6,181
乳用牛飼養頭数	145,113	147,183	153,711	146,692	142,880	142,120	820,430
(1戸あたり)	181	181	194	187	185	191	133
生乳生産量	17,916	17,151	188,339	176,668	160,643	168,988	3,868,154
(1戸あたり)	22.2	21.1	238	225	210	229	626

(資料: 2015 世界農林産物・畜産物生産量調査、農林水産省牛乳製品統計調査、北海道農林水産統計、朝海町調べ)



④ 新規就農者数の推移

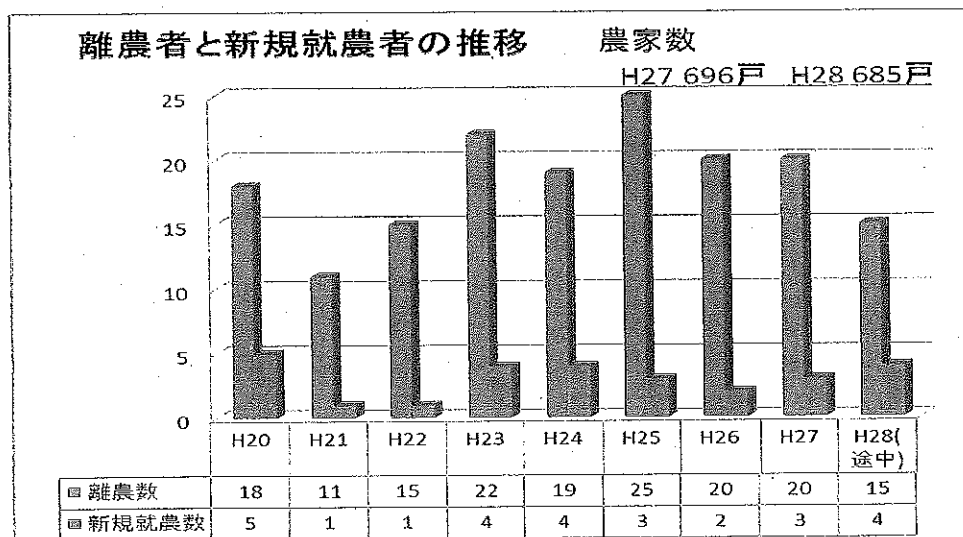
新規就農者数の推移



(資料: 朝海町調べ)



離農者が上回っている



2) 新規就農者への助成金制度 ◎平成27年度～実施

- 新規就農者助成 3,000千円/戸・・・移転費用の一部助成
- ◎新規就農者リース料支援 3年間 貸付料の1/3 貸付額Max300万円
- ◎、、固定資産税の女性 3年間 Max25万円
- 農業リース利子補給 5年間 道1/2 町1/4 JA1/4・・・出荷先はJA100%
- ◎農業定住促進継承 住宅の新築改築 1,000千円/戸
- ◎生産牛導入支援 1,500千円/戸

3) 担い手対策の取り組み

① 担い手対策プロジェクトチームの立ち上げ

- 東京・大阪・札幌で農業人フェアや相談会の実施
 - 首都圏を中心に大学・高校・専門学校訪問
 - 酪農体験・実習者へ旅費の補助
 - 受け入れ先農家への補助
 - 首都圏を中心とした広報誌の掲載 等
 - 後継者のパートナー解決・・・関西と交流を図っている(成果あり)
- ※(根室・釧路とも共同で酪農発展に取り組んでいる)

酪農研修牧場(農家でも可)で最大3年間研修・・・平成8年～
事業費 14 億円(内、国庫補助 6.5 億円)

身分	職員	・・・	社会保障完備
住居	2LDK	3 万円/月	テレビ・冷蔵庫・洗濯機・暖房機完備
	1LDK	3 万円/月	、、
給与	夫婦	30 万円	・・・手取り 223 千円

研修後及び直接就農実績

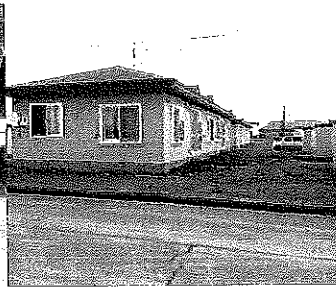
72 組(夫婦)が就農し、離農者は 6 組、 66 組が継続中

- ※就農時の借入金は 1 億円以上とのこと。
- ※損益分岐点頭数・・・50 頭

牛舎



家族住居



転身住居

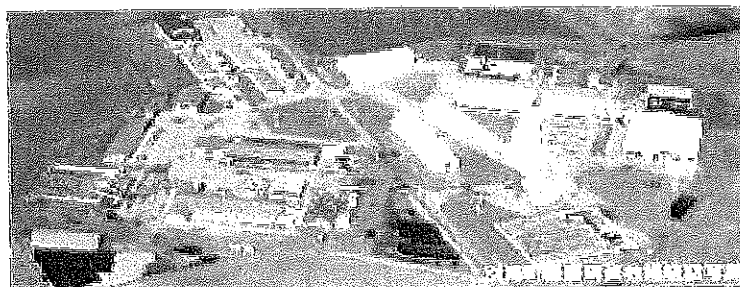


4) 酪農工場

製品 牛乳・ヨーグルト・チーズ等

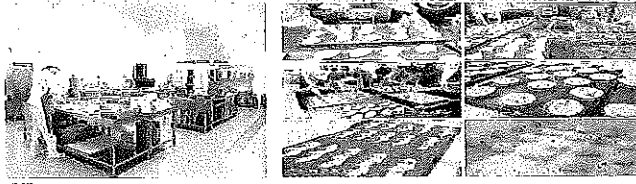
売上 5.2 億円

事業費 12.6 億円(内、国庫補助 6 億円)



5) 農漁村加工体験施設

地元食材品を使用した加工食品体験・・・地元食材 PR・食文化
事業費 3 億円(内、国庫補助 2.6 億円)



6) 資源循環センター

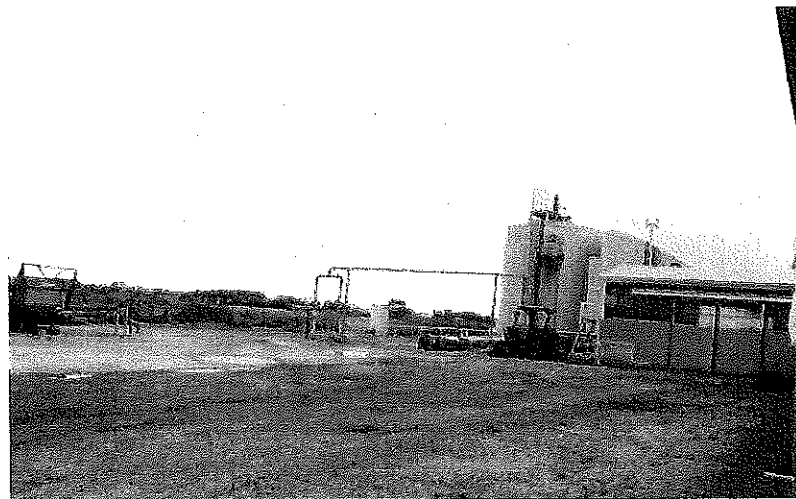
○事業は国のモデル事業

牛糞等を使用したバイオ発電・・・ガス発生量 1,300 m³/日
メタン濃度 60%



以下のものは、酪農研修牧場の隣のバイオ発電

地下が直接の牛糞等が入れられ、右のタンクがガスタンク。



7) 別海町畜産環境に関する条例

発生した家畜ふん尿の河川流出など、漁業に悪影響を及ぼしかねない畜産関係の事故等を踏まえ、「別海町畜産環境に関する条例」を制定。

条例は平成 26 年 4 月 1 日から施行するが、事業者の規制に係る部分については 3 年間の猶予期間を設けた。

この猶予期間で、農業者への施設整備支援や、家畜ふん尿処理に係る研究提案、意識啓発事業など必要な対策を実施していく。

基本理念

○町、事業者及び農業団体が自らの責務を自覚し、自主的かつ積極的に取

組むこと

○本町の豊かな自然環境を未来の世代に継承していくこと

○将来にわたり農業と漁業が共存共栄していける社会を構築していくこと

町の責務

- ・健全な畜産環境の保持に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、実施すること
- ・施策に必要な財政措置を講ずること

事業者の責務

- ・事業活動を行うに当たり、漁業に与える影響を認識し、環境負荷が最小限になるよう必要な措置を講ずること
- ・町の施策に協力するとともに、自らも共同により環境負荷低減の努力をすること

農業団体の責務

- ・組合員に対し、事業者の責務が適正に遂行されるよう指導する
- ・町の施策に協力するとともに、自らも施策を策定し実施すること

参考まで、

北海道では、冬場等糞尿が凍結する為、堆肥化は難し
従って、畑に肥料として撒くのは、そのままを使用する。

2. 課題

- 1) 現実に高齢化等により離農者が多いこと、まと離農しても生活住居場所として住まれ、牛舎等を手放す方が少ない。
- 2) 企業参入の拡大。

3. 感想

- 1) 酪農の言われる担い手を確保するためには、相応の助成が必要
- 2) 研修後の離農者が少ないことには驚いた。
- 3) 就農するには、1億円以上の借入が必要であり、返済を含めると若い若手、30代が対象となる。
- 4) 牛乳や乳製品は必需品であり、生産者が減少すると国民が困る。
従って、政府としても更なる支援策が必要である。
- 5) 大量の上水を使用するか。町内は全て水道完備(阿寒湖から・・・国の事業として整備。根室市も阿寒湖から)

4. 本市への参考点

- 1) 農業・漁業の担い手不足は困窮している。
別海町のような、相応の支援策が必要。そうで無いと消滅する。
宿泊所・空き家等の活用しながら指導員制も必要。
ある程度の補助はするが、後は放置ではすたれていく。
- 2) 上記1)の支援策と都市圏域でのPR活動が必要。
中途半端な支援策は不可。農業であれば農業機器の手配、漁業であれば船

や漁具の手配まで考えるべき。

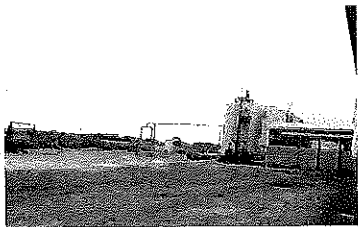
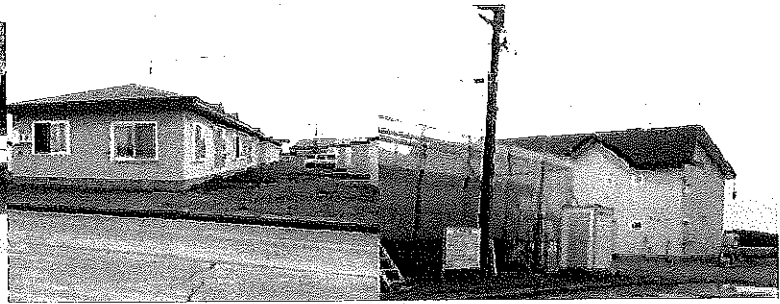
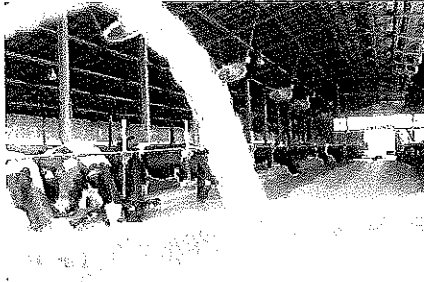
添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺

顔写真付きの視察状況写真は撮り忘れ、この度、釧路新聞社の取材も受けている。
会議状況や現地視察も同行された。






2016年07月29日・・・釧路新聞より

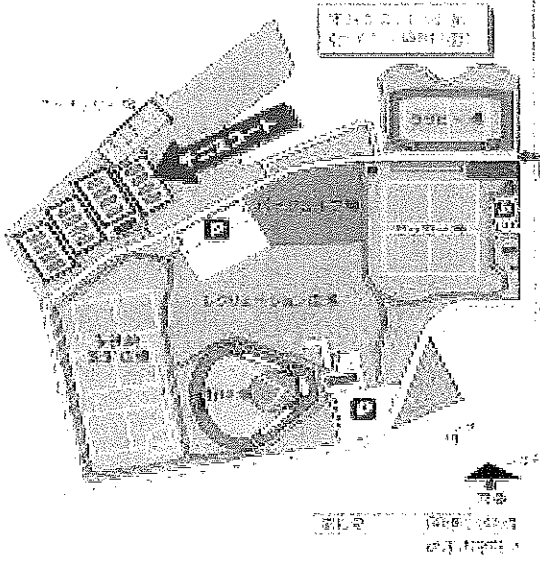
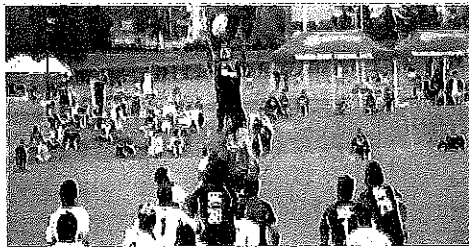

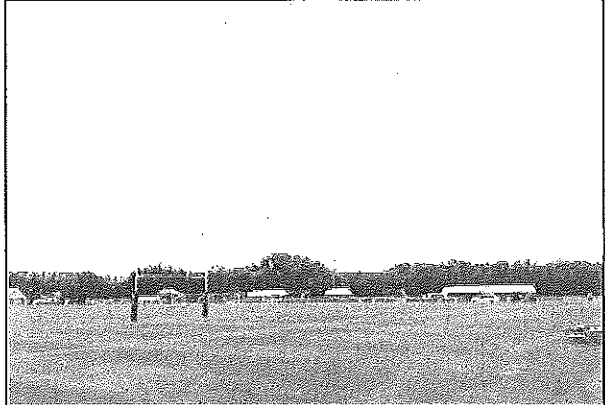
酪農・畜産、全国から注目／別海町

全国の市議会などによる別海町への行政視察が今年度に入り急増している。昨年度はわずか1件にとどまったが、今年度はすでに7件。生乳生産日本一の町を象徴する酪農研修牧場、べつかい乳業興社、国内最大規模のバイオガス発電所などが視察場所に選ばれ、酪農・畜産行政の先進地として注目が集まっている。

【移動日】 羅臼 → ウトロ → 斜里 → 湧別町 → 網走市

住 所	
電 話	
視察案件	知床世界遺産 → 佐呂間町(サロマ湖) → 網走刑務所
期 日	平成 28 年 7 月 28 日 (木) 9 時 00 分 から 17 時 00 分
応 対 者	○網走のスポーツ・トレーニングフィールドレクリエーションの視察調整をしたが、先方と当方の日程が合わなかった為、翌日現地視察のみとした。 ○佐呂間町の農業法人「北の大地から農業維新」も、農繁期で視察受け入れが不可であった。現地方面へ現地視察とした。
視察状況	
訪問施設	
概 要	<p>【知床世界遺産】</p> <p>本市は日本遺産登録に向けて活動中であり、参考にすべきものの調査を自然遺産に認定された知床の現地視察を行った。</p> <p>当日は、強風の為、知床五湖も一部しか見学できない状況であった。</p> <p>(感想)</p> <p>スケールが異なっていたことと、自然遺産であれば決められた道しか通れず、立ち入ることが出来ない等、日本遺産とは異なっていた。</p> <p>やはり経済効果は、宿泊・観光・雇用等町の経済効果は図れない。</p>  <p>【佐呂間町】</p> <p>農業では、畜産(牛)と農産物では麦の栽培が有名である。</p> <p>沿道は、全て広大な麦畑であり、黄金色に実った麦を大型コンバインで収穫中であつた。</p>  <p>サロマ湖は、本市面積より広く約 150 平方キロメートルで、ホタテ貝・牡蠣・エビ等が有名である。他オホーツクの漁業も盛んである。</p> <p>サロマ湖の展望台より湖を一望・・・本市より広い!!</p>  <p>【網走刑務所】</p> <p>過去のものであるが、刑務所が「博物館 網走監獄」の観光名所であり、経済効果は大きい。</p> <p>歴史であるが、この者達が、北海道開拓の一躍を担った。</p>

【4】北海道網走市

住 所	北海道網走
電 話	
視察案件	スポーツ・トレーニングフィールドレクリエーション
期 日	平成 28 年 7 月 29 日 (金) 9 時 00 分 から 9 時 30 分
応 対 者	視察調整をおこないましたが、先方と当方の日程が合わなかった為 現地視察のみとした。
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	長岡市環境衛生センター
概 要	<p>○東京ドーム約9個分 (41.4ha)・・・日本一</p> <p>○Jリーグやラグビートップリーグチームが合宿を行う 天然芝フィールドが7面、全天候型テニスコート16面、 野球場、ソフトボール場、アーチェリー場のほか投てき競技専用の練習場</p> <p>○総事業費 34 億 56 百万円</p> <p>○年間 220 万人の観光客が訪れる網走 宿泊する人は三分の一。開設以来、ソウルオリンピック直前合宿、ラグビー 全日本代表候補強化合宿、Jリーグチームの合宿など毎年 14,000 人前後が 合宿し、汗を流している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>当日も、ラグビー社会人チーム数社が合宿中で練習した。 当方の宿泊先にもチームが宿泊していた。一週間。</p> <p>経済効果大きい。 大会ともなれば宿泊先不足か。 欠点 = 冬場利用不可。だから他 シーズンが良い。</p> 

【5】北海道津別町

住 所	北海道網走郡津別町本町 67
電 話	0152-76-2427
視察案件	認定こども園について「こどもの杜」
期 日	平成 28 年 7 月 29 日 (金) 10 時 20 分 から 11 時 30 分
応 対 者	副議長 篠原 眞稚子 氏 園長 長政 久仁子 氏 事務局長 千葉 誠 氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	庁舎会議室 ⇒ こどもの杜

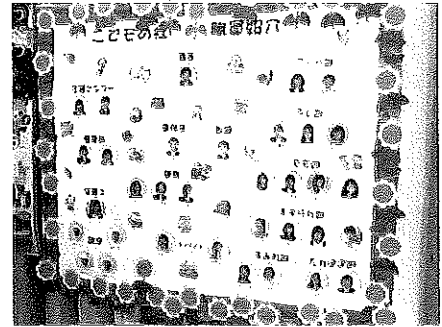
概 要	<p>I. 市の概要</p> <p>1. 人口 5,039 人 2. 面積 716km² 3. 産業 林業・農業(玉ねぎ等) 4. 議員 10 人</p>
	<p>II. 認定こども園について「こどもの杜」</p> <p>1. 視察目的 本市もこども園について検討中。また新市長においても前向き検討とのことより、本市に無い、こども園を視察。 別海町は平成 27 年 4 月開設で新しく、且つ幼稚園・保育園の区分はあるものの柔軟な運用と、こども支援センターを兼ねた複合的運営に興味があった。</p> <p>2. こどもの杜について 1) 経緯・・・簡単明瞭 津別町は大きく 3 地区に分かれていた。それぞれに幼稚園と保育所及び小学校・中学校を運営していたが、小学校・中学校の統廃合で、それぞれ 1 校になった。 ⇒ 幼稚園・保育所も集約し 1 つとした。</p> <p>現在 中学校 津別中学校 } 小学校 津別小学校 } ←</p> <p>●閉校した学校 中学校 本岐中学校 (2001 年 3 月) 活汲中学校 (2014 年 3 月) 本岐中学校 (2015 年 3 月) 小学校 恩根小学校 (2006 年 3 月) 上里小学校 (2007 年 3 月) 相生小学校 (2010 年 3 月) 活汲小学校 (2015 年 3 月)</p> <p>2) 施設概要</p>

- 運営：社会福祉法人夢つべつ・・・運営予算 124 百万円
- 定員：112 人 現在 120 人
- クラス：6 クラス 0 歳から 5 歳・・・幼稚園組と保育所組同じクラス
- 利用時間

- 1 号(幼稚園組) 8:30~14:00・・・預かり保育有料 ~17:00
- 2 号 3 号(保育所 標準) 7:30~18:30 ?・・・延長保育料 ~19:00

○スタッフ

- 園長ほか事務系 8 人
- 保育士・幼稚園教師 17 人
- 看護師 2 人
- 支援センター 2 人
- 栄養士・調理師 5 人 計 34 人



- 送迎バス 5 路線 最大 30 分程度・・・小中と同様バス活用

◎子育て支援事業(町からの委託事業)

一時保育・預かり保育・延長保育・病児保育

3. 課題

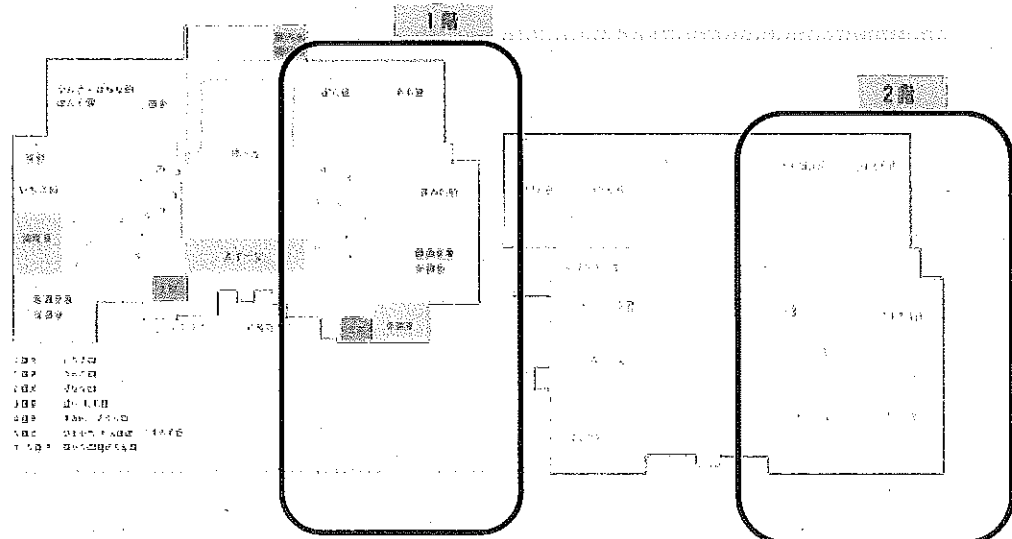
幼児の減少傾向

3. 感想

- 1) これまでに、他のこども園を視察したことがあるが、施設の一部やクラスが幼稚園と保育所が分離されていたが、共用運営であった。
- 2) 看護師の常勤は心強い。

※一昨年の視察の稚内市こども園

枠内が幼稚園部分、枠外が保育園部分



4. 本市への参考点

- 1) 幼児全体数からすると多くの保育所・幼稚園がり学校と同様統合計画が必要と思われる。
- 2) 立保育所との関係より、本市の場合幼稚園を吸収は困難か。
- 3) 国の計画中の幼保一元化や5才児の無償化検討より、現状の形態を変えていかざるを得ない。
- 4) 実施するなら津別町方式
幼稚園・保育所のハード区分等を無くす。・・建設費・運営費等効率的

添付書類

視察資料

視察状況写真

名刺

視察状況写真

